

PCサイト



携帯サイト



令和7年度入学 新入生保護者説明会資料

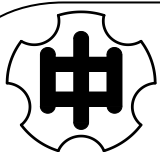


入学のしおり

- 1 日時 令和7年2月8日(土)14:00~15:00
- 2 場所 体育館アリーナ
- 3 内容

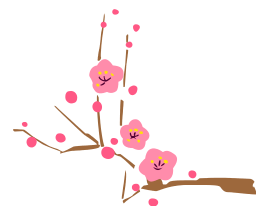
(1) 学校紹介(生徒会)	
(2) 学校長より(学校長)	1 ~ 2
(3) 教務より(教務部)	3
(4) 学習活動について(進路指導部)	4 ~ 5
(5) 生活のきまりについて(生活指導部)	6 ~ 9
(6) 特別支援学級の教育活動について(10組)	10 ~ 11
(7) 保健・特別支援教室について(養護・特別支援教育)	12 ~ 13
(8) 諸経費等について(事務部)	14 ~ 15
(9) 入学式について(教務)	16 ~ 17

※全体終了後、特別支援学級の説明会を10組調理室にて行います



校章の由来

「大泉」の地名の頭文字「大」を
図案化して輪郭に、中央部の「中」
は中学校を太字にして配しました。



練馬区立大泉中学校

新入生と保護者の皆様へ

「自律」「協働」「創造」

～「主体的に学び、他者と協働して新しい時代を創造する生徒の育成に向けて」～
校長 大槻 亨

本校は、昭和22年に創設された板橋区立大泉第一中学校と大泉第二中学校が昭和23年に統合し、練馬区立大泉中学校として開校しました。以来、校舎の増築や体育館の改築、大泉第二中学校や大泉学園中学校との分離独立を経ながら生徒数の増減を繰り返し、今年度開校78年目を迎えた歴史と伝統に培われた学校です。現在、通常学級は1年生が7学級、2年生と3年生がそれぞれ6学級で合計19学級あり、特別支援学級52名を合わせると全校生徒数は753名となり、東京都23区内でも屈指の大規模校です。そのため、校内には活気がありますが、同時に、とても落ち着いた学校生活を送ることもできています。

本校の特色は、文武両道の精神を根底におき、一人一人の生徒が個性を生かして様々な場面で活躍するところです。学習、行事、委員会活動、部活動等、それぞれの取組を大切にして誠心誠意やり抜く生徒の姿は、見ていてとても気持ちの良いものです。中でも、本校の二大行事は充実しています。

例年、運動会は5月に実施しています。すべての演技に生徒が全力で取り組み、手を抜く生徒は一人もいません。特に、色とりどりのビブスをまとって行う集団演技、男子の「大中ソーラン」と女子の「Yosakoi (よさこい) 北の魂」は圧巻です。上級生が下級生に指導するという伝統があり、多くの生徒が、団結することのすばらしさ、やり遂げた後の達成感を得る行事です。



また、10月には合唱コンクールを実施します。合唱の練習が始まると、学校中のあちらこちらから生徒の歌声がきこえてきます。リーダーを中心にクラス一丸となって練習している姿は、真剣そのものです。それだけに、当日合唱を終えた瞬間にこみ上げる感動はとても大きなものがあります。様々な個性あふれる人同士が互いの存在を認め合い、ハーモニーを大切にしていくことを学ぶ大切な行事です。

この他にも校外学習や宿泊行事も充実しています。1年生は7・8月に English Summer Camp(任意参加)、2年生は1・2月にスキー移動教室、3年生は9・10月に修学旅行に行きます。10組は6月に移動教室、9・10月に修学旅行(3年生)、1・2月に4校連合スキー移動教室を実施しています。いずれの行事も、大人数なので準備が大変ですが、生徒主体で実行委員を中心にスローガンを決め、きまり等も検討し、各係に分かれて進めていきます。校外学習は班別行動で、コースなども生徒が決めます。そして、この経験の積み重ねが修学旅行に結実するのです。

大泉中学校での3年間はバラエティーに富み、生涯忘れられない思い出となるはずです。是非、本校での3年間で心と体を鍛え、思いやりの気持ちを育み、心から信頼しあえる仲間と教師との出会いの機会を得てほしいと思います。



1 学校経営方針

本校のめざす生徒像は次の3つです。

- (1)「自律」 自ら考え主体的に行動する生徒
- (2)「協働」 自他ともに互いの良さを認め合い、協力して取り組む生徒
- (3)「創造」 より良い社会を探求し新しい時代を創造する生徒

2 3つの骨子について

(1) 「自律」主体的に学習に取り組む生徒の育成

① 授業の充実

学力向上は、本校の最重要課題です。学力向上の根幹は授業です。本校では50分の授業を最大限に活かすため、2分前準備を行いチャイムと同時に授業を始めています。さらに、年間を通じて全教員が校内研究授業を実施し、「わかる授業」「魅力ある授業」の展開をめざしています。

② 達成感のある学習活動

生徒の学習意欲を向上させるために、「わかった、できた、次もやってみよう」と思える達成感のある学習活動をめざします。学習コンテストを実施して基礎学力の定着を図ったり、補充教室で学習の遅れに対応したりしていきます。

③ ICTの活用と「大泉中授業スタンダード」による授業改善の推進

タブレットパソコンや各教室の教材提示装置・プロジェクター等を活用し「大泉中授業スタンダード」を踏まえ、生徒の主体性を生かした学びを引き出すとともに、対話的で深い学びを実現する授業改善をなお一層図っていきます。

(2) 「協働」自他ともに互いの良さを認め合い、協力して取り組む生徒

春の運動会と秋の合唱コンクールの二大行事では、全校生徒がひとつの目標に向かって、仲間意識を高め、絆を深めます。この2つの行事を通じて、互いの人権を尊重し相手を思いやる豊かな心を持ち、他者と協働して課題を解決しようとする態度を育成していきます。



また、先述したように、校外学習や宿泊行事では事前準備をしっかりと行い、生徒が主体的に班ごとに役割分担し、学年全員が充実した体験活動ができるように準備を進めます。生徒たちは協働して様々な活動や体験をする中で、自分の成長を実感していきます。

(3) 「創造」 より良い社会を探求し新しい時代を創造する生徒の育成

本校は生徒会役員を中心に生徒の自治活動を奨励しています。従って、委員会活動や係活動が非常に活発です。また、部活動も充実していて、自分の趣味や生き甲斐を放課後の活動から得ている生徒も多くいます。授業や学校行事も含めて、多様な活動を通じて、教職員と生徒、生徒同士が協働し対話を積み重ねることによって、思考を広げ深めていく活動を多く設定しています。社会の様々な変化に積極的に向き合い、持続可能な社会の創り手として新しい時代を創造しようとする態度を育てていきたいと考えています。

3 10組（特別支援学級）と通常学級との交流

本校には、知的に障害のある特別支援学級（10組）が設置されています。将来、全員の生徒が社会の一員として自立した生活を送ることができるよう教育活動を展開しています。また、10組と通常学級の交流も推進しています。学校行事や部活動等、日頃の教育活動の中で、お互いに理解を深め、共に社会を築きあげる豊かな人間関係を培っていくことがねらいです。特に、八校合同文化発表会に向けた通常学級との交流会では、10組生徒の発表を全校生徒で鑑賞し、生徒会生徒を中心に応援の言葉を伝えるなど心温まる活動を行っています。



4 秩序ある学校生活

本校の教職員は、「協調と協働」を重点に据え、一致団結して「主体的に学ぶ生徒」「協力して取り組む生徒」「新しい時代を創造する生徒」の育成に取り組むとともに、家庭や地域と連携し、「信頼と誇りのある学校」を目指していきます。大泉中学校への入学を心よりお待ちしております。

中学校の教育課程について

(1) 授業時間

1単位時間50分(平常授業)※短縮授業は45分

※月・火・木・金は6時間授業、水は5時間授業

※土曜日授業は6月、9月、11月、2月の年4回実施。3時間授業

(2) 教科等

【中学校教育課程 1学年 標準授業時数】

各教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技術・家庭	英語	特別の教科 道徳	特別活動 学級活動	総合的な 学習 の時間	総授業 時数
週時数	4	3	4	3	1~2	1~2	3	2	4	1	1	1~2	29
年間標準時数	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015

① 教科書は入学後、学級活動の時間にお渡しします。

② ノート・辞書・補助教材・用具などは、入学後に各教科担当教員が指示いたします。

③ 使用教科書

種目	発行者	種目	発行者	種目	発行者
国語	光村図書	数学	東京書籍	技術	開隆堂
書写	光村図書	理科	東京書籍	家庭	開隆堂
社会地理	帝国書院	音楽一般	教育芸術社	英語	光村図書
社会歴史	東京書籍	音楽器楽	教育芸術社	道徳	光村図書
社会公民	東京書籍	美術	光村図書		
地図	帝国書院	保健体育	東京書籍		

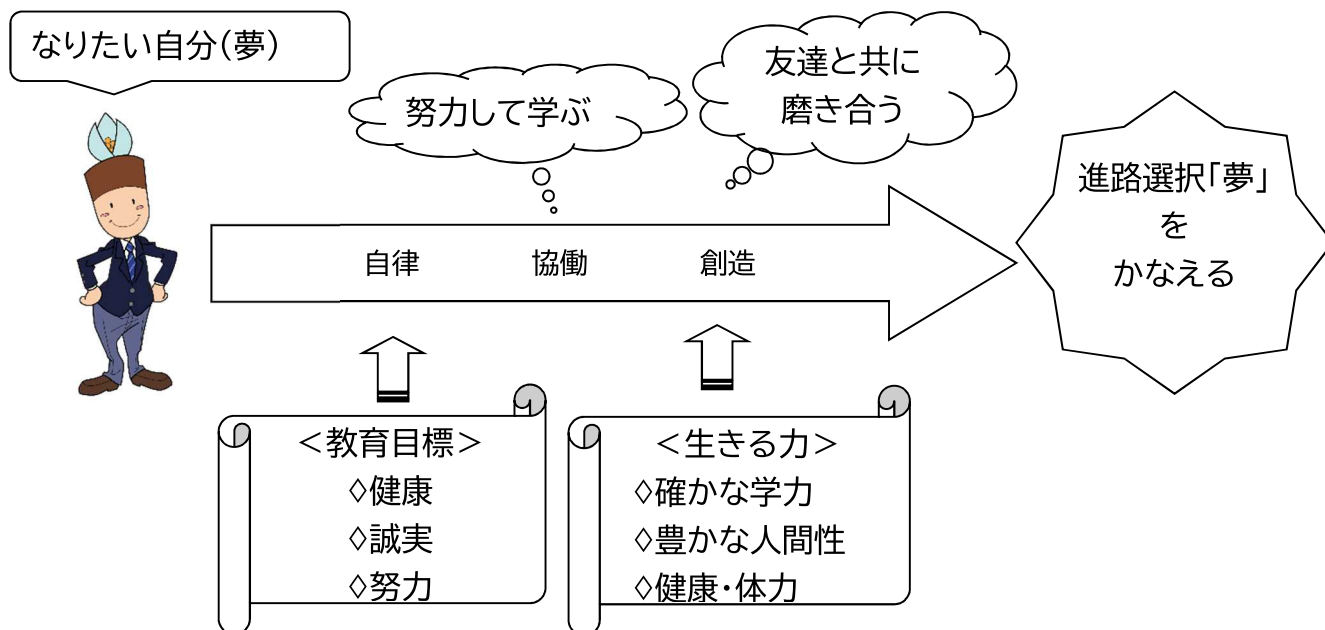
(3) 令和7年度の主な行事予定

※変更になる場合もあります。

月	日	曜	行事
4	8	火	入学式
	25	金	学年保護者会
5	9	金	部活動説明会、部活動保護者会
	24	土	運動会 ※26(月) 振替休業日
6	10(火)~12(木)		定期考査Ⅰ(9教科)
	14	土	土曜授業(学校公開日)
7	18	金	1学期終業式
	22日(月)~31日(木)		三者面談期間
			イングリッシュキャンプ(2泊3日) 夏季補充教室
9	1	月	2学期始業式
	11日(木)、12日(金)		学校公開日
	13	土	土曜授業(学校公開日)
	16(火)、17(水)		定期考査Ⅱ(5教科)
10	17	金	合唱コンクール(練馬文化センター)
11	8	土	土曜授業(道徳授業地区公開講座、学校公開日)
	11(火)~13(木)		定期考査Ⅲ(9教科)
	27	木	校外学習
12	1(月)~8(月)		三者面談 ※除く6(土)・7(日)
	25	木	2学期終業式
1	8	木	3学期始業式
2	26(木)、27(金)		定期考査Ⅳ
3	10	火	学年保護者会
	25	水	修了式

学習活動について(進路指導部より)

中学校での学びとは…



本校の進路学習に関する取り組みの特色

- ◇基礎学力の保証
 - ・「授業が分からない、ついていけない」という生徒に対する補充学習を行っています。
 - ・ユニバーサルデザインの授業展開を行っています。
- ◇学習意欲の向上
 - ・「さらに勉強したい、高めたい」という生徒に対しても補充学習、各種検定試験の奨励を行っています。
- ◇習熟度別少人数授業の工夫
 - ・数学科で、2、3年生で継続実施をしています。
- ◇授業に関する質問紙調査
 - ・1、2学期末に行われる質問紙調査の結果を参考に授業改善を行い、“わかる授業”“できる授業”の充実を図ります。

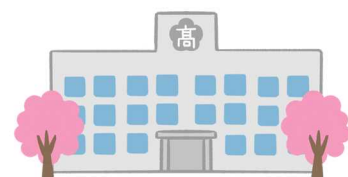
- ◇通知表は通常1学期末、2学期末、学年末の3回渡しています。
- ◇定期考査を1学期に1回、2学期に2回、3学期に1回行います。学校での授業に真剣に取り組み、計画的に学習する習慣を身に付け、定期考査で成果を挙げられている生徒も多くみられます。日頃から、小テストや提出物等、家庭学習をコツコツ積み上げることが大切です。



令和5年度卒業生進路先

国公立		私立			
愛媛県立長浜	竹早	相生学院	順天	東京家政大学附属女子	明聖・中野キャンパス
青山	立川	ID 学園	城西大学附属城西	東京女子学院	目黒学院
井草	田無	飛鳥未来さずな	昭和第一	東京成徳大学	目黒日本大学
板橋	田無工科	S	昭和鉄道	桐朋	目白研心
板橋有徳	千早	開成	杉並総合	豊島学院	代々木高等学院
大泉桜	筑波大附属	関東国際	駿台学園	二松学舎大学附属	ルネッサンス
北園	豊島	錦城	成蹊	新渡戸文化	早大高等学院
清瀬	戸山	国立音楽大学附属	正則学園	日本航空	早稲田実業
久留米西	西	クラーク記念国際	西武学園文理	日本大学第二	早稲田大学本庄
工芸	練馬	慶應義塾志木	専修大学附属	日本大学鶴ヶ丘	
小金井北	農芸	佼成学園	仙台育英	野田鎌田学園杉並	その他
国際	東久留米総合	幸福の科学学園	第一	藤村女子	就職
小平	東大和	国学院	大智学園	文華女子	
小平西	光丘	国際基督教大学	大東文化大学第一	法政大学	
駒場	一橋	小松大谷	多摩工科	佼成学園女子	
鷺宮	日比谷	埼玉栄	千葉学芸	豊南	
産業技術	文京	栄東	中央大学杉並	保善	
石神井	保谷	桜丘	中央大学附属	堀越	
新宿	松原	狭山ヶ丘	筑波大学附属坂戸	明星学園	
杉並工科	稔ヶ丘	実践学園	帝京	武蔵野	
杉並工科	武蔵野北	自由の森学園	貞静学園	武蔵野大学	
第四商業	武蔵丘	淑徳	東亜学園	明治学院東村山	
田柄	芦花	淑徳巣鴨	東海大学付属望星	明治大学付属明治	

(順不同)



令和6年度 大泉中学校 学校生活の決まり

◀服装・持ち物の決まり▶ ※紛失を防ぐために、持参物にはフルネームでの記名をすること。

①標準服

赤字の部分は、来年度からの変更を検討中です。

	冬服期間 [4月、11月～3月]	夏服期間 [5月～10月]
標準服の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ スラックス型、スカート型を各自で選択し、着用する。 ・ 原則的に夏服と冬服の着用期間を設け、季節に合った服装を意識する。 ・ 儀式的行事に参加する場面では、設定された期間に合わせた服装での参加を基本とする。 ・ 寒暖差や季節外れの気候、本人の体調等に対応するため、年間を通して各自の判断で冬服及び夏服を選択して着用することを認める。ただし、服装の決まりを意識し、選択した服装のルールに合った着こなしをする。 ・ 下校時にブレザー等を脱いで行動する場合は、紛失等を防ぐため、きちんと記名し、管理する。 	
スラックス型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準服ブレザー ※1 ・ 標準ネクタイ又はリボンを選択して着用(学年色/R7入学生は赤) ・ 標準スラックス ・ ベルト ※2 ・ 白無地のワイシャツ ※4 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準スラックス ・ ベルト ※2 ・ 白無地のワイシャツ、ブラウス※4 ・ 白、紺、黒、グレーのワンポイントまでのポロシャツ※5
スカート型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準服ブレザー ※1 ・ 標準リボン又はネクタイを選択して着用(学年色/R7入学生は赤) ・ 標準スカート ※3 ・ 白無地のワイシャツまたはブラウス ※4 ・ 標準ベスト着用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準スカート、 ※3 ・ 白無地のワイシャツ、ブラウス※4 ・ 白、紺、黒、グレーのワンポイントまでのポロシャツ※5 ・ 標準ベストは任意で着用
留意事項等	<p>※1 ボタンは全てかけて着用する。腕まくりはしない。暑いときは脱いでカバンにしまう。冬服選択時は登下校及び儀式や集会に参加するときは着用する。</p> <p>※2 スラックス着用時は正装に相応しいデザインのもの必ず使用する。</p> <p>※3 スカートの膝頭が隠れる長さを上限とする。</p> <p>※4 夏服着用時は第一ボタンを開けて着用してよい。 長袖を腕まくりするときには、しっかりと折り曲げる。</p> <p>※4 ワイシャツ等の下には、外から色や柄、ロゴ等が見えないシャツを着用する。ポロシャツ着用時は着用しなくてもよい。</p> <p>※5 ポロシャツも Yシャツ同様裾を入れて着用する。</p> <p>★ブレザー着用時(冬服)にはネクタイ及びリボンを着用する。</p> <p>他)特別な事情で標準服が着用できない場合は事前に相談し、対応してもらう。</p>	

②靴下等

靴下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紺、黒、グレー、白 ・ 華美でないもの ・ くるぶしが出るものは不可
----	--

③靴、鞆等

靴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校靴で保健体育科の授業等をするため履きなれた運動靴のみとする。ただし、降雨時に雨用の靴を使用することは可能だが、長靴等での運動参加は認めない。
鞆	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙製、ビニール製の袋はサブバック等でも不可。 ・ 目印を目的とした装飾品(バッジやブローチ等)は派手でないものを1つまで可。

④防寒着等

防寒着 (厳冬期のみ使用可能、詳細は別途通知)	<p>[セーター] ・紺・黒・グレーのワンポイント可。ブレザーからはみ出さないように着用する。 ・登下校時、集会参加時以外はセーターでの活動を可能とする。 ・セーター着用時、ベスト着用は不要とする。</p> <p>[防寒着] ・登下校時以外は着用せず、登校後はカバンかロッカーに入れて管理できる防寒着 ・あくまで防寒着なので、ブレザーの着用の上のみ着用を認める。 ・華美でないもの</p> <p>[タイツ] ・スカート型標準服着用時のみ使用可能。体育着着用時は使用不可。 ・黒無地で、足先まで覆う物を使用する。(レギンス等は不可) ・起立した状態で地肌が透けないものを使用する。(120 デニールが目安)</p> <p>[体育着] ・指定のジャージ内に防寒着の着用が可能。</p> <p>[その他] ・ネックウォーマー、マフラー、手袋は服装や場に合ったデザインのものを使用する。 ・登下校時以外は着用せず、鞆の中で管理する。 ・使い捨てカイロは使用者責任下で使用可。ごみ等は持ち帰り処分する。</p>
----------------------------	--

⑤ 頭髪等

頭髪等	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔感のある髪型で生活すること。 ・染色、脱色、パーマ、デザインされた髪型等、頭髪を加工することや整髪料を使用することは禁止する。 ・髪を束ねる場合は黒・紺・茶等で装飾のないゴム紐やピンを使用すること。(バレッタ等は禁止) ・眉毛を剃る、抜くなどの加工は禁止する。
-----	--

⑥ その他

他	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧をしたり、装飾品を身に付けたりしてはならない。(ピアス、指輪、ネックレス、リストバンド等) ・日焼け止めクリームは登校前に家庭で塗ってから登校することを基本とする。校内での塗り直しが必要な場合は、更衣室で休み時間に行くこと。無香料のクリームタイプのみ使用可能とし、スプレーやオイルは使用できない。 ・校内で腕時計を使用することができる。自己責任での管理とし、時計機能のみのものとする。 ・無香料の汗拭きシート、ハンドクリーム、リップクリームは使用可能。ごみ等は持ち帰ること。 ・携帯電話の持ち込みは原則禁止。区域外通学等で災害時の安全確認上必要な場合は別途様式により申請し、許可を得た上で、職員室へ登校時に預け、下校前に受け取りに行く。 ・熱中症予防及び防寒を目的として、登下校中に帽子を着用しても良い。昇降口で着脱する。 また、熱中症予防を目的として、日傘を使用してよい。記名をし、各自で管理すること。
---	--

○不審者対策のため、令和 5 年度から体育着の刺繍がシャツは銀、ハーフパンツは紺に変わりました。

○ネクタイ・リボンは令和 5 年入学生からホックタイプに変更になりましたが、テープタイプも利用可能です。

※ 登校について

登校	原則として 8 時 15 分までに登校し、8 時 20 分までに準備等を終え、読書や自習等の活動を開始すること。	
一般下校	6 時限までの日	15 時 40 分
	5 時限までの日	14 時 40 分
部活動等 最終下校	夏季(3 月～10 月)	18 時 30 分
	冬季(11 月～2 月)	18 時 00 分



《生活の決まり》

1 生活時間について (ゆとりをもって行動しよう)

- ①登校 原則として届け出た通学経路を通り、8時15分までに登校し、一日の用意を完了する。
8時20分までに読書や自習などの活動を開始する。(各学年設定、委員会企画等)
- ②遅刻 8時25分以降に各階の階段付近に引かれた黄色の線を通り抜けた場合遅刻となる。
- ③届出 遅刻や欠席をする場合は、電話か sigfy を通じて8時15分までに保護者が連絡をする。
早退や体育の見学等、登校後連絡できる場合は生徒手帳の連絡欄を使用し届け出る。
- ④始業 各授業が終了したのち、次の授業の準備をし、休憩時間となる。休憩後は始業2分前までに着席を完了し、予習等をして授業に備える。
- ⑤外出 安全管理の観点から、再登校等は認めない。通院等で外出の必要がある時は、担任に事前に届け出て許可を得る。(生徒手帳の連絡欄に理由、時間を保護者に記入・捺印していただく)
- ⑥下校 終学活後は速やかに清掃等の学級活動や生徒会活動の週番活動等を行う。活動が終了した生徒は速やかに昇降口を通過することとし、廊下等に留まることはしない。登校時同様、届け出た通学経路を通り速やかに帰宅する。

○登校時刻は7時20分以降に正門を通るようにする。

部活動、行事、学級活動共に7時30分から8時05分までは朝の活動が可能だが、8時15分までに教室に移動できるように行うこと。また、活動時は担当教員の監督が必要である。

○原則、忘れ物を取りに帰ったり、提出物を提出するために再登校したりしない。忘れ物がないように十分に確認してから登校する。部活動においても再登校は認めない。顧問が帯同できない場合は待機とする。会議等で2時間を超えての待機時間が発生する場合は一斉の再登校を実施する。

2 放課後の諸活動について

- ①学級活動、委員会活動、部活動等は、それぞれの担当教諭の指導・管理の下に行う。
- ②部活動等で放課後残る場合は、その団体の責任者が午前中に担当教諭の許可を受け、事務室前にある黒板に団体名、活動場所、活動開始時間を記入する。
○学級活動、委員会活動等の最終下校時刻は17時を基本とする。
○部活動等の最終下校時刻は、夏季(3~10月)は18時30分、冬季(11~2月)は18時とし、最終下校時刻には校門を出ていることとする。

3 校舎使用上の注意

- ①体育館棟では体育館履き及び部活動等で指定された靴のみを使用する。
- ②昼休み等に中庭では遊んではならない。
- ③昼休みに校庭や体育館(アリーナ)で遊ぶときは、貸出される用具以外は使用してはならない。また、フィールド部分以外には立ち入らない。
- ④校内では落ち着いた行動を意識し、互いに安心して生活できる環境を作り出す。



4 持ち物

① 学校に持参するものには記名をする。

- ②記名された落とし物については学年の教員を通じて持ち主に返却する。持ち主が特定できないものは職員室前の陳列棚に学期内保管し、学期末に廃棄する。
- ③下校時には生徒用机の中は空にしておく。
机の横に体育館履き等許可されたものを掛けて下校する時は、右側のフックのみを使用する。
- ④生徒用ロッカーには授業に関係する教材は置いて帰ることができる。ただし、教科書等の背表紙が見えるようにし、各自で整理整頓を徹底する。
- ⑤学校から貸与されているタブレット PC や部活動等授業以外での持参物は、特別な指示がない限り置いて帰ることはできない。
- ⑥持ち物を落とした場合、または拾得した場合は、担任または各担当の先生に届け出る。
- ⑦学習に関係ない用具(金銭、貴重品、学校で支給された以外の電子機器等)は学校に持ってこない。
- ⑧金銭を納入するときは、朝のうちに担任等に預ける。不要金銭や不要物を誤って持ってきたときは、速やかに担任に預け、下校時に職員室で受け取り持ち帰る。
- ⑨小型の鋏を除く刃物等の危険物は持参しない。小型の鋏を持参したときは筆箱に入れて管理する。

5 電車・バス通学について

通学証明書：電車・バス通学希望者は所定用紙に記入し、担任の確認を受けたうえで提出する。

6 その他通学について

自転車通学は禁止とする。登録経路以外で下校する場合は担任に事前申請する。

7 水筒の持参について

- ①水筒は年間を通して持参可能とする。
- ②中身は「水、無糖のお茶、スポーツドリンク」とする。
- ③容器は水筒とし、ペットボトル禁止。
- ④飲水時間は休み時間とするが、授業内でも担当教員が許可した場合は飲水可能。
- ⑤飲水は教室等授業場所とし、廊下や登下校時には基本的に使用しない。また、他者の水筒をもらうなどはせず、自分で持参したもののみを使用する。
- ⑥中身がなくなったときは、冷水器より補給してよい。
- ⑦各自の鞆に入れて保管し、飲水時のみ鞆から取り出す。

8 傘の持参について

- ①雨が降っている日の朝には昇降口に各学級のポリバケツが用意される。学級を確認し、バケツ内に傘を束ねて入れる。
- ②生活委員と美化委員が午前中に傘を教室に運び管理する。下校時に必ず持ち帰る。
- ③雨が降っていない日に傘を持参した時は、教室に持っていき、窓際に掛けて管理をする。
- ④傘の持ち手付近には必ず記名をし、持ち主不明とならないようにすること。持ち主不明の傘は階段付近に管理し、各学期末に廃棄する。
- ⑤傘を忘れた日に雨が降ってきたときは、職員室で傘を借りて帰ることができる。必要な生徒は職員室を訪れ、傘を借り、翌日職員室に返却する。

特別支援学級の教育活動について（10組より）

1 特別支援学級の教育目標

〔教育目標〕

- ・健康 ～ 心豊かで健康をめざす人
明るく、元気で秩序ある学校生活を送る生徒の育成
- ・誠実 ～ 自分も他人も大切にする人
真剣、前向きに取り組む生徒の育成
- ・努力 ～ 進んで学習に励む人
主体的に学ぶ生徒の育成

を受けて



〔10組 学級の教育目標〕

- ・身のまわりのことをできる人になろう
- ・みんなと仲良くできる人になろう
- ・根気よく努力できる人になろう
- ・仕事のできる人になろう

2 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ①日常生活や宿泊行事などを通して、社会生活(対人関係・買い物・交通機関の利用・社会ルールなど)に必要な生きる力の育成を計画的、継続的に推進する。
- ②学校行事や係活動などを通して、経験を広め、社会性を養い、障害をもつ生徒ももたない生徒も互いに学び合える共同学習・交流教育を進め、豊かな人間性を育てる。
- ③たくましい心と身体の育成を目指し、健康・体力作りの習慣化と学習活動を充実させる。
- ④生徒の個性・特性に応じた課題を用意し、個別の指導計画に基づいたきめ細やかな指導を行う。
- ⑤学校生活支援シート(個別の教育支援計画)をもとに、学校と家庭・地域・医療など、関係諸機関と積極的に連携を図る。
- ⑥全ての教育活動の中で自立活動の内容を充実させ、将来の自立のために必要な知識、技能、態度を養う。また、学年の枠を超えたグループによる活動を展開し、異年齢の生徒との関わり方を学び、状況や場面に応じて適切な人間関係が形成できるよう指導する。
- ⑦学校・学級集団の中で、お互いの人権を尊重し、学校と家庭・地域社会との協働により、思いやりの心や規範意識を身に付け、主体的に活動する心と態度を育成する。
- ⑧学校行事、委員会、部活動等で通常の学級との交流及び共同学習を図り、障害理解教育を推進する。

3 学習形態

*通常学級・・・1学級 40人・担任1人・同年齢集団・一斉授業
学習指導要領に沿った内容・成績(観点別絶対評価 ⇒ 評定)

*特別支援学級・・・例)学級9人・担任3人・異年齢集団
大泉中 10組は・・・学級 52人・担任 9人(1年 18人・2年 21人・3年 13人)
一斉授業と少人数でのグループ学習の組み合わせ
それぞれの発達段階に合わせた内容(通常学級の教育課程に準ずる)
個別指導計画の作成による達成度と課題の共通理解

⇒通知表に記載

4 交流活動・部活動

委員会、運動会、合唱コンクール、ボランティア活動などを通して、通常学級と交流。また、八校合同文化発表会、年に2回の宿泊行事(移動教室)などの行事で区内の特別支援学級と交流。部活動は、10組の生徒により構成された「走る会」での活動と通常学級の生徒と共に活動する活動がある。

5 配当授業時間

(1)各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の年間授業時数(令和6年度)

内容・学年 教科名		内 容	学年別授業時数		
			1	2	3
必修教科	国 語	聞く・話す・読む・書く力を高める学習。	78	80	76
	社 会	地理や歴史・身近な時事問題など。	72	75	73
	数 学	数量・図形の理解を深める学習。 日常生活に必要な数学的知識や技能の学習。	68	66	65
	理 科	動植物や天候など身近な事象を科学的に考 える学習。	68	66	67
	音 楽	歌唱・器楽・鑑賞等。	61	60	60
	美 術	絵画・工芸・彫塑・デザイン等。	60	58	58
	保健体育	集団行動・陸上・球技・水泳・ダンス等。	135	135	132
	職業・家庭	木工・手芸・調理などを中心に、手指の操作性 の向上を目指し、生活する力を高める学習。	143	149	139
	外国語	コミュニケーション能力を高める学習 外国人講師による授業	72	74	74
小 計			757	763	744

※この他に、道徳・総合的な学習の時間・学級活動・自立活動の時間として145(1年)/146(2年)/157時間(3年)、日常生活の指導・生活単元学習・作業学習の時間として131(1年)119(2年)/119(3年)時間を実施。年間授業時数は1年1033時間、2年1028時間、3年1020時間。

(2)令和6年度 週あたりの時間割の例

	月	火	水	木	金
	着替え指導・朝学習・朝学活				
1	生単	職業・家庭 理科	家庭・社会 理科	道徳	数学
2	数学	職業・家庭 社会	家庭・社会 理科	体育	体育
3	英語・美術 音楽	職業・家庭 理科	国語	職業・社会 理科	PC・美術 英語・作業
4	PC・美術 作業・英語	職業・家庭 社会	総合	職業・社会 理科	PC・英語 音楽
5	英語・美術 作業・PC	体育	体育	英語・美術 音楽	数学
6	英語・美術 音楽	国語		PC・美術 英語・作業	日常

*国語・数学 … 習熟度別を基本とした少人数のグループ別学習(7グループ)

*社会・英語・理科・美術
PC・職業・作業 } … グループ別学習(4グループ)

*音楽 … グループ別学習(2グループ)

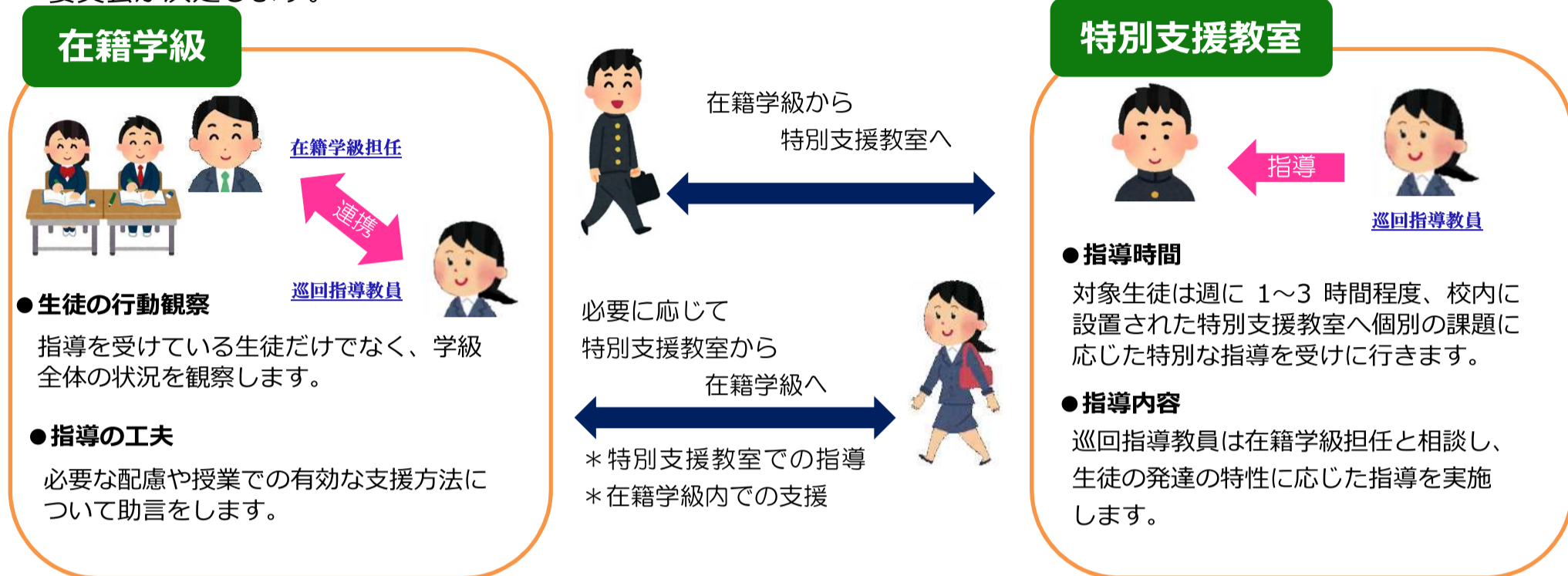
*学活・道徳・日常生活・総合…(学習内容によって学年別等、学習形態が変わります。)

特別支援教室の指導・支援の体制

特別支援教室（マイステップアップルーム）の仕組みとは…

練馬区立中学校には「特別支援教室（マイステップアップルーム）」が設置されており、各中学校で生徒の特性に応じた特別な指導を受けることができます。特別支援教室では、巡回指導教員が拠点とする学校から各中学校に出向き指導を行います。

特別支援教室の指導対象生徒については、保護者との合意等に基づいて、各中学校の校長が申請し、練馬区教育委員会が決定します。



特別支援教室での指導を円滑に行うため、特別支援教室専門員を各学校に配置し、臨床発達心理士等による巡回を行います。

特別支援教室専門員

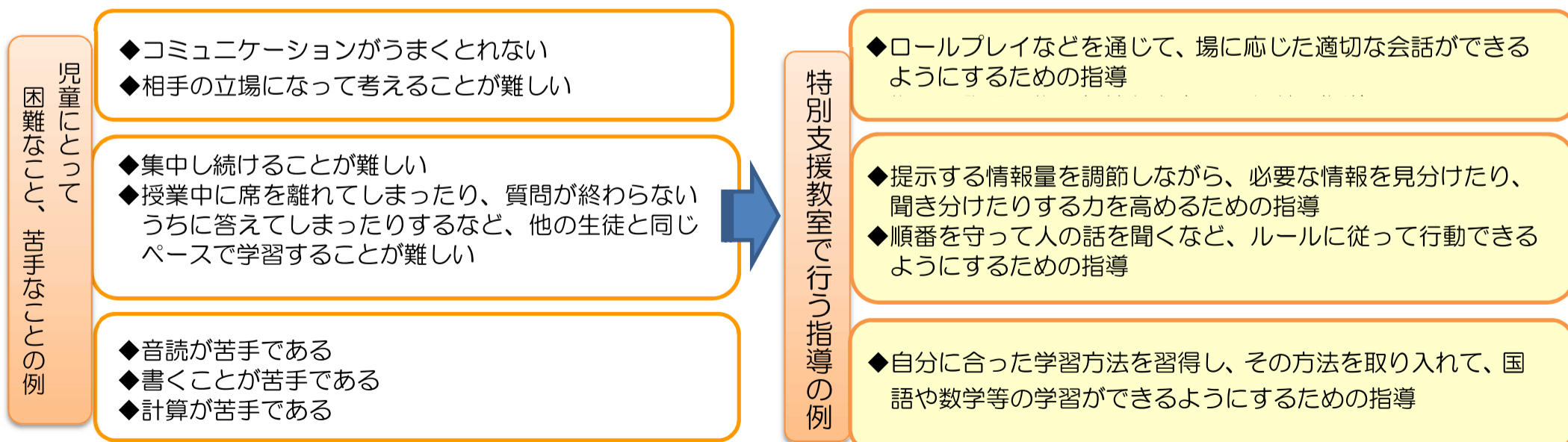
巡回指導教員や特別支援教育コーディネーター、在籍学級担任等との連絡調整および個別の課題に応じた教材の作成、生徒の行動観察や記録を行います。

臨床発達心理士等

生徒の行動観察を行い、発達の特性を把握し、巡回指導教員・在籍学級担任等に指導上の配慮について助言します。

特別支援教室で行う指導とは…

生徒の状態に応じて行う「自立活動」や「特別の指導」です。



特別支援教室に関する問い合わせ先

練馬区教育委員会 学務課就学相談係 5984-5664（直通）

特別支援教室の自立活動

特別支援教室では、一人一人の生徒の状態に応じて、自立活動の6区分27項目の指導内容の中から必要とする指導項目を選んで、個別指導計画を作成して指導します。

また、特別支援教室における自立活動の指導は、個々の生徒の課題への対応中心となりますが、生徒が在籍する通常の学級でのよりよい適応を目指して、ロールプレイなどによる相手と関わる際の具体的な方法を身に付ける指導など、個別指導と併せて少人数によるグループ指導も工夫していきます。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2)病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3)身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5)健康状態の維持・改善に関すること。	(1)情緒の安定に関すること (2)状況の理解と変化への対応に関すること (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。	(1)他者とのかわりの基礎に関すること。 (2)他者の意図や感情の理解に関すること。 (3)自己の理解と行動の調整に関すること。 (4)集団への参加の基礎に関すること。	(1)保有する感覚の活用に関すること。 (2)感覚や認知の特性への理解と対応に関すること。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動に関すること。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活に関すること。 (3)日常生活に必要な基本動作に関すること。 (4)身体の移動能力に関すること。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。	(1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2)言語の受容と表出に関すること。 (3)言語の形成と活用に関すること。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること。

○特別支援教室の導入効果…

- ・生徒が他校まで通う負担や、在籍学校での授業の遅れに対する不安が解消されます。
- ・これまで通級指導学級で行われていた指導を取り入れながら、在籍校で過ごすことで、生徒の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長が図られます。
- ・在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になり、生徒の状況を見ながら、よりきめ細やかな指導が行えます。
- ・教職員や保護者が発達障害のある生徒への指導内容を知る機会が増え、障害に対する理解が深まります。

諸経費等について（事務室より）

1 学納金について

練馬区では学校納入金(教材費・給食費)の取り扱いは、ゆうちょ銀行からの引落です。

つきましては、学校納入金についてご同意の上、同封の「自動払込利用申込書」を、ご記入いただき**4月8日(火)入学式当日までに学校に提出**をお願いします。

(1) 手続きについて

(ア)口座名義は、保護者名義でお願いします。

「ゆうちょ銀行総合口座通帳」が保護者名義であればその口座が使えます。

口座をお持ちでない方は、ゆうちょ銀行が指定する身分証明書をお持ちの上、口座開設をお願いいたします。**自動払込を利用する際は必ず印鑑の登録が必要です。**

(イ)自動払込利用申込書を学校に提出してください。

(次ページに記入例がありますのでご参考ください。)入学式前に提出される時はクラスは未記入で構いません。生徒一人につき1部ご用意ください。提出していただきました書類は、学校納入金手続以外には使用いたしません。また、提出された書類は、お返しできませんのでご了承ください。控えをとるようお願いいたします。

(ウ)教材費と給食費の合計を7回に分けて引落とします。(6月～12月まで)

引落日は**4日(再引落19日)**です。4日が土日祝日の場合は翌営業日です。各月の引落しに手数料10円がかかります。8月にも引落がありますのでご注意ください。また、行事や学級閉鎖などで食数が変わった場合は、12月の引落時か年度末で精算します。なお、返金時には手数料66円を引いた金額を口座へお返しします。

(2) 費用について(参考)

令和6年度1年生の学校納入金の内訳は以下のとおりです。ご参考ください。

《年間費用》

教材費 49,500円 + 70円手数料 = 49,570円

月別引落日金額 6月 12,570円 + 7月 12,000円 + 8月以降 5,000円 × 5回 = 49,570円

※ 令和6年度は給食費無償化により一部対象外の方を除き、給食費72,192円は徴収いたしませんでした。

※ 令和7年度の詳細につきましては、教材費は入学後の学年保護者会で、給食費は5月末までに文書でご案内いたします。

(3) ご留意いただきたいこと

学校納入金である学校給食費及び教材費の未納が続きますと、教育活動に支障が生じます。必ず引落の前日までに、学校へ届けられた口座への入金をお願いいたします。

なお、支払期限を経過した場合は、状況により、未納金回収の事務を教育委員会へ委託し、区が委託した弁護士が、法的手続きを含めた未納金回収を行う場合があります。

【学校納入金手続きについてのお問い合わせ先 大泉中学校 事務室 電話 3924-1002】

2 通学証明書及び学割の発行について



(1) 通学証明書

入学式当日、定期券の購入で通学証明書が必要な場合は、同封の通学証明書申込書に必要箇所を記入・押印の上、入学通知書等と一緒に提出ください。クラスや出席番号及び身分証明書番号は未記入でもかまいません。なお、申込書はホームページにも掲載しております。また、入学後に必要になった場合は、事務室前の申込書を受取り、必要箇所記入押印の上、担任へ提出してください。その後、発行いたします。

(2) 学割

旅行や帰省等で新幹線等を利用し学割証が必要な場合は、事務室前の申込書を受取り、必要箇所記入押印の上、担任へ提出してください。その後発行いたします。申込みに当たっては、早めに申込書をご提出ください。なお、申込書はホームページにも記載しております。

また、学校あたりの配布数が決まっております。有効期限を確認の上、**極力往復**で申請してください。

記入例

自動払込利用申込書 収 加

下記の太線枠内をご記入・ご捺印ください(「氏名」「フリガナ」は口座名義人氏名をご記入ください)

契約種別 コード	3	0	記号(6桁目がある場合は※欄にご記入ください。)	1	0	0	1	0	※	番号(右から詰めてご記入ください。8桁目に満たないときは「0」をご記入ください。)	9	9	9	9	9	9	9
(フリガナ)	オオイズミ タロウ														届出印		
氏名	大泉 太郎														<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 大泉 </div>		
電話番号	(9999)0000																
払込先口座番号				払込先 加入者名													
払込開始年月	令和 7年 6月から			払込日	4日(土曜、日曜、祝休日の (再払込日) 19日 場合は翌営業日)												
払込金の種別				備考													

学年	1	クラス		フリガナ	オオイズミ ジロウ
				児童生徒氏名	大泉 次郎

ご注意

- 1 「届出印」欄には、金融機関にお届けの印鑑を押印ください。
- 2 ご不明点に関しましては、下記にお問い合わせください。

貯金事務センターへのお願い

この自動払込利用申込書に記載された内容に不備がありましたら、該当項目に○印をつけ下記問い合わせ先にご返送ください。

- 1 口座なし
- 2 記載事項等相違(記号番号・口座名義)
- 3 印鑑相違
- 4 その他()

【 申込書不備返却先 ・ お問い合わせ先 】

〒178-0063
練馬区東大泉4丁目27番35号
練馬区立大泉中学校
03-3924-0771

入学式についてのご案内（教務部より）

- 1 日時 令和7年4月8日（火）**9時30分より**（※10時50分閉会予定）
- 2 場所 本校体育館アリーナ
- 3 受付〔時間〕 8時30分～9時00分 〔場所〕 正門付近

〔注意事項〕・新入生と保護者は一緒に来校してください。
 ・会場準備の都合上、お時間をお守りくださるようお願いいたします。
 ・西門から入校した場合、お手数ですが体育館へ入場する前に、受付のある正門側にお立ち寄りください。

4 式前後のながれ

	新入生	保護者
式 前	○正門付近（職員玄関前）で、 学級編成のプリント を受け取ってください。（各家庭1枚） ※学級編成のプリントにお子様のお名前が見つけられなかったり、間違いがあった場合は、すぐに近くの本校教職員にお伝えください。早急に対応させていただきます。	○受付の教員に生徒氏名をお伝えください。 ②受付に必要な書類をご提出ください。
	①学級編成のプリントで自分のクラスを確認します。 ②西昇降口へ移動します。（10組生徒は中庭を通過して西昇降口へ移動します。） ③自分のクラス、出席番号の下駄箱に靴を入れてください。 ※出席番号シールの下を使用してください。 ④本校生徒の誘導にしたがって、4階教室に移動します。（10組生徒は1階）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><u>ご提出書類</u></p> <p>入学通知書、自動振込利用申込書、 通学証明書申込用紙（※1） ※1）通学定期券発行に必要な方のみ提出です。 （提出時には印鑑が必要となります。用紙は本校HPでダウンロードできます。）</p> </div> ③受付でPTA関係書類封筒をお受け取りください。 ④受付終了後、体育館へご移動ください。
式 後	○教室に移動し、担任の先生から翌日以降の活動や準備等についての連絡を受けます。	○体育館にて入学後の流れや学校生活などの連絡を受けます。
	○新入生、保護者の準備ができ次第、学級ごとに写真撮影を行います。 ※感染状況等により撮影が中止となる場合がありますのでご了承ください。	

5 当日にご用意いただくもの

新入生	上ばき、体育館ばき（※ひもは「赤色」です）、筆記用具、かばん ※持参するものには原則記名するようにお願いします。
保護者	入学通知書（※お子様に持たせないようご注意ください。）、自動振込利用申込書 スリッパ、靴を入れる袋、通学証明書発行申請書（必要な方）

6 お願い

- ・駐車場、駐輪場の準備はございません。自動車、自転車での来校、近隣各所への違法駐車、駐輪はご遠慮いただくようご協力をお願いします。
- ・正門前での記念撮影はできる限り式終了後をお願いします。式前に撮影を行いますと開始時刻が遅れる場合がありますので、ご協力をお願いします。
- ・開式前に携帯電話・スマートフォン等の電源をお切りいただくか、マナーモードの設定をお願いします。また、会場内での通話をご遠慮頂きますようご協力をお願いします。
- ・できる限り着席にてご臨席頂けるよう座席数をご用意させていただいておりますが、不足する場合もございます。お手荷物等についてはご配慮頂き、ひとりでも多くの保護者の方が着席にてご臨席いただけるようご協力をお願いします。

新入生のみなさんへ



小学校卒業おめでとうございます。最上級生として小学校の伝統をしっかりとつないでくことはできたでしょうか？

いよいよ中学校生活への準備が始まります。「部活頑張りたいな！」とか「制服楽しみだな～」といったドキドキやワクワクがいっぱいの人もいれば、「勉強難しいんだよな…」とか「新しい友達出来るかな…」といった心配や不安のある人もいると思います。

先輩たちも最初は心配や不安な気持ちがあったようですが、今できる準備をすることでその気持ちは和らぎます。春休みを大切に過ごしましょう。

1 入学式に持ってくるもの

①上ばき ②体育館ばき ③筆記用具 ④かばん

※持ってくるものには名前を書きましょう。

※上ばきと体育館ばきの名前を書く位置は「かかとの部分」です。

2 入学式の日にとすることリスト

- ① 学校に登校します。
- ② 自分のクラスが書かれたプリントを確認します。
- ③ 「西昇降口」へ移動(10組生徒は中庭を通過して「西昇降口」へ移動)します。
※大泉中学校には2か所昇降口があります。
- ④ 自分のクラスの出席番号の下足箱を探します。靴をはき替えて下駄箱に入れましょう。
※自分の出席番号の「すぐ下の下駄箱」を使ってください。
- ⑤ 先輩が案内をしてくれます。4階(10組は1階)にある各クラスの教室へ移動してください。
- ⑥ 担当の先生がいらっしゃるまで、教室で待っててください。
- ⑦ 担任の先生から説明を受けて、体育館に入場します。
- ⑧ 入学式に参列します。
- ⑨ 入学式後教室に戻り、担任の先生から次の日以降の説明を受けます。
- ⑩ クラス写真を撮って下校です。

3 入学までの過ごし方

- ① 以下の冊子、書類は中学校でも使いますので捨てないでください。

防災ノート、キャリア・パスポート、地図帳

※入学式の日を持ってくる日を伝えます。

- ② 小学校の勉強の復習など、1日60分は勉強する時間をとりましょう。
3月は勉強する時間が減りやすい時期です。勉強している習慣をなくさないようにしましょう。